

立川看護学部 看護学科

事前課題レポートについて

[課題]

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、死者594名、そのうち、避難生活の中で体調を崩して亡くなった方が364名と報告されている（表1）。建物の倒壊などによって直接亡くなった場合を「直接死」と呼び、避難生活の中で体調を崩して亡くなった場合を「災害関連死」と呼んでいる。

表2は、災害関連死と認定された人について、その死因を分類したものである。

表1・2から読み取れる特徴を具体的な数値を用いた上で説明し、なぜそのような死因で多くの人々が命を落とすことになったのかを、震災後の生活環境の変化と結びつけて考察し、こうした犠牲を減らすために社会または個人が取るべき対策を提案しなさい。800字以上1000字以内で論じること。

[レポート課題の提出に際しての注意点]

1. 所定用紙を大学ホームページより印刷し、志願者が自書で作成してください。
2. 横書き。黒ボールペンを使用し、修正する場合は修正テープでていねいに消し、その上に記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。
3. 文字数は800字以上1000字以内で作成してください。指定字数800字未満のものは採点しません。
4. 大学ホームページにある「生成系AIの利用について」（令和5年7月アドミッション委員会）を熟読して課題レポートを作成してください。

表1 令和6年能登半島地震における人的被害

死因	人数
直接死・行方不明	230人
災害関連死	364人
合計	594人

（出典：令和7年版防災白書をもとに作成。令和7年5月13日時点）

https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/pdf/r7_tokushu_1.pdf

表2 令和6年能登半島地震における災害関連死の死因（死因が判明した158名）

死因	人数	割合
循環器系疾患（心臓病・脳血管障害など）	53人	約34%
呼吸器系疾患（肺炎など）	52人	約33%
体力低下	23人	約15%
その他	30人	約19%
合計	158人	100%

（出典：令和7年版防災白書 特集 第1章第1節、図表1-5をもとに作成。令和6年11月21日時点）

https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/pdf/r7_tokushu_1.pdf

総合型選抜 立川看護学部 看護学科 レポート用紙

受験番号	※
フリガナ	
氏 名	



※記入しないこと

[illegible]

総合型選抜 立川看護学部 看護学科 レポート用紙

受験番号	※
フリガナ	
氏 名	

※記入しないこと

[illegible]